

代表者のことば

世界や日本の姿を知り、「これからの社会を生き抜く力」を育む教科書

科学の進展やグローバル化、情報化によって、私たちの生活は大きく変化しました。地球上で今起きていることをいながらにして知ることができ、世界中の食材が日々の食卓を彩り、世界の人々と出会う機会も増えました。一方で、世界の人々すべてがそれらの恩恵を十分に受けているわけではありません。私たちは地球で限りある資源や空間を分かち合って生活しています。地球に暮らす私たちが平和に暮らしていくためには、空間的に不均衡な世界の今の姿を知り、互いに理解を深め、文化の多様性を尊重する意識や態度が求められます。また、私たち人類は、環境問題、人口問題、食料問題、貧困や格差の問題など、解決すべき多くの地球的課題に直面しています。さらに、自然災害に対処するために、自然の仕組みや身近な環境の特徴を正しく捉えたいと、一人一人が行動を考えることが重要です。

この教科書は、ローカルからグローバルまでバランスよく世界を認識する知識や技能を育て、持続可能な社会を実現するために欠かせない力を養うことができます。そして、問いを立て、それを探究する学習を積み重ねることで、さまざまな視点から世界や日本の姿を柔軟に捉える思考力を身に付けられます。私たち編集委員が熱い思いと自信を持って編集したこの教科書が、これからの社会を生き抜く確かな力につながっていくことを願っています。



島津 弘(しまづ ひろし) 立正大学教授 1962年生。東京大学理学部卒業。博士(理学)。■著書/『地理を学ぼう 海外エクスカッション』、『ポラディア プラス 世界の国々(全5巻)』(代表監修)、『上高地の自然誌』(共著)ほか。

編集に携わった人々

●代表

島津 弘 立正大学教授

●顧問

荒井 正剛 東京学芸大学特任教授
関 裕幸 東京都立小石川中等教育学校主任教諭

- 秋澤 夢子 いの町立伊野中学校教諭
五十嵐辰博 千葉大学教育学部附属中学校教諭
石高 吉記 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
今村 吾朗 練馬区立石神井西中学校主任教諭
入子 彰子 元文京区立音羽中学校指導教諭
岩本 鷹薫 福井市明倫中学校教諭
上園 悦史 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
江口麻衣子 新潟市立内野中学校教諭
江間 史明 山形大学教授
大石 太郎 関西学院大学教授
緒方 浩臣 横浜市立港中学校校長
岡部 誠 板橋区立志村第一中学校校長
大西 弘員 広島大学附属東雲中学校教諭
小野 大助 福山市立神辺中学校教頭
勝田 俊輔 東京大学教授
鎌倉 夏来 東京大学准教授
唐木 清志 筑波大学教授
河野真理子 早稲田大学教授
木村 博一 広島大学名誉教授
草原 和博 広島大学教授
久保 五月 高知県立高知国際中学校教諭
栗原 久 東洋大学教授
呉羽 正昭 筑波大学教授
小谷 勇人 春日部市立武里中学校教諭
兒玉 修 九州保健福祉大学学長
小林 大介 蕪市教育委員会指導主事
近藤 晃史 福山市立理想学園教諭
近藤沙耶香 港区立港南中学校主任教諭
今野日出晴 岩手大学教授
佐川 英治 東京大学教授
佐久間敦史 大阪教育大学准教授
迫 真也 広島市立祇園中学校教諭
佐々木智章 早稲田大学高等学院教諭
佐藤 弘直 厚木市立依知中学校教諭
佐藤 全敏 東京女子大学教授
重 秀雄 広島市立中広中学校主幹教諭
篠田 穰 福岡教育大学附属福岡中学校主幹教諭
篠塚 昭司 東京学芸大学附属世田谷中学校主幹教諭
白澤 保典 東村山市立東村山第四中学校主任教諭
須釜 昇平 八千代市立村上東中学校教諭

高橋慎一郎 東京大学史料編纂所教授

矢ヶ崎典隆 東京学芸大学名誉教授 小原 友行 福山大学教授 坂上 康俊 九州大学名誉教授
戸波 江二 早稲田大学名誉教授 関宮 陽介 京都大学名誉教授

- 菅谷 昌弘 札幌市立平岡緑中学校教頭
薄田 和弥 札幌市立元町中学校教諭
鈴木 拓磨 豊島区立千登世橋中学校主幹教諭
関戸 明子 群馬大学教授
関 真規子 文京区立第六中学校指導教諭
瀬戸 康輝 広島市立大塚中学校教諭
早福 史 新潟市立高志中等教育学校教諭
高田 孝雄 足立区立東綾瀬中学校指導教諭
高橋 晶 千葉大学教育学部附属中学校教諭
高橋 達弥 足立区立第十四中学校主幹教諭
高山 知機 世田谷区立太子堂中学校校長
田崎 義久 東京学芸大学附属小金井中学校教諭
田中 将吾 福山市立済美中学校教諭
田中 伸 岐阜大学准教授
谷藤 良功 千葉市立福毛国際中等教育学校教諭
千葉 一晶 調布市立第四中学校副校長
坪田 益美 東北学院大学准教授
寺本 誠 お茶の水女子大学附属中学校教諭
土肥大次郎 長崎大学准教授
豊嶋 啓司 福岡教育大学教授・副学長
内藤 圭太 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
中尾 学 台東区立上野中学校主幹教諭
中北 浩爾 中央大学教授
中平 一義 上越教育大学教授
中村 達矢 福岡市立金武中学校教諭
晃介 福井市光陽中学校教諭
新坂 大輔 清瀬市立清瀬第二中学校主幹教諭
服部 一秀 山梨大学教授
濱田 幸伸 高知大学教育学部附属中学校教諭
濱本 大悟 江東区立深川第八中学校主任教諭
東野 茂樹 葛飾区立堀切中学校副校長
藤井 辰典 松原市立松原中学校教諭
藤瀬 泰司 熊本大学教授
藤田 詠司 高知大学教授
藤田 淳 東村山市立東村山第二中学校主幹教諭
藤原 一弘 愛媛大学准教授
星野 勇悟 大東市立四糸小学校首席
細野 悠司 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
前田 良介 福山市立培遠中学校教諭

谷口 将紀 東京大学教授

- 真壁 佑輔 札幌市立上野幌中学校教諭
牧 紀男 京都大学防災研究所教授
松澤 克行 東京大学史料編纂所教授
松下 誠 福岡市立住吉小中学校校長
松多 信尚 岡山大学教授
松原 健明 横須賀市立武山中学校総括教諭
溝口 和宏 鹿児島大学教授
向井 敏幸 大阪教育大学教授
毛利 透 福井市足羽中学校教諭
森川 禎彦 福井大学教育学部附属義務教育学校教諭
森山 幸一 福岡市立友泉中学校教諭
諸富 徹 京都大学教授
山貝 洋輔 新潟大学附属新潟中学校教諭
山田 秀和 岡山大学教授
湯澤 規子 法政大学教授
吉田圭一郎 東京都立大学教授
吉水 裕也 兵庫教育大学理事・副学長
渡辺 宏輝 札幌市立明園中学校教諭
渡邊 頼史 福山市立城南中学校教諭
鵜淵 翔大 札幌市立栄町中学校教諭

●ICTの活用に関する校閲

- 稲垣 忠 東北学院大学教授
緒方 広明 京都大学教授
小柳和喜雄 関西大学教授
小崎 誠二 奈良教育大学客員准教授
泰山 裕 鳴門教育大学大学院准教授
寺澤 孝文 岡山大学教授

●特別支援教育に関する校閲

- 田中 良広 帝京平成大学教授
道面 美紀 墨田区立本所中学校指導教諭

ほか1名 東京書籍株式会社

●色彩デザインに関する編集協力 色覚問題研究グループぱずてる

教科書活用 Q & A更新中!



*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。
The United Nations Sustainable Development Goals website: https://www.un.org/sustainabledevelopment/
The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States.

東京書籍

パンフ+αの情報を特設サイトで!

東京書籍 中学校 地理



この資料は、令和7年度用中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。



内容解説資料

新編 新しい社会 地理



東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
支社・出張所 Tel:03-5390-7373(社会編集部) Fax:03-5390-6015
札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467
金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260 大阪 06-6397-1350
広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770
那覇 098-834-8084
ホームページ https://www.tokyo-shoseki.co.jp
教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp

東京書籍

中学校社会科用 文部科学省検定済教科書 2 東書 地理002-72



今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて
「これからの社会を
生き抜く力」を育む



「新編 新しい社会 地理」3つの特色

特色

1

課題解決的な学習に
わくわくをプラス!



- わくわくを誘う 学びの入り口 8
- 1時間の学習の流れを「見える化」 12
- 学びを実感! 学習のまとめ 14

特色

2

紙とデジタルで
学びがアップデート!



- さまざまなシーンに最適な
QRコンテンツ 18
- 多彩なQRコンテンツで
学びをサポート 20

特色

3

生徒一人一人と
社会がつながる教科書



- 一人一人の資質・能力を育てる工夫 22
- 今と向き合い これからのを考える教科書 24
- 誰一人取り残されない学びのために 26

「新編 新しい社会 地理」の
編集にあたって
— 編集部からのメッセージ —



この教科書は、課題を自分たちで見つけ、考え、伝えるというプロセスを大切にしながら、現代社会を学んでほしいとの思いで、多くの人たちの力を集めて作られました。地球上のさまざまな場所で暮らす人々や、その生活の舞台を知ることで、今を知り、どこに課題があるのか、それはなぜ起こっているのか、どうしたら解決に向かうのか、これからの社会の在り方を一緒に考えられるように紙面を工夫しました。中学生のみなさんに、地理の学びから世界を知り、探究することの楽しさや奥深さを感じてもらえることを願っています。

目次

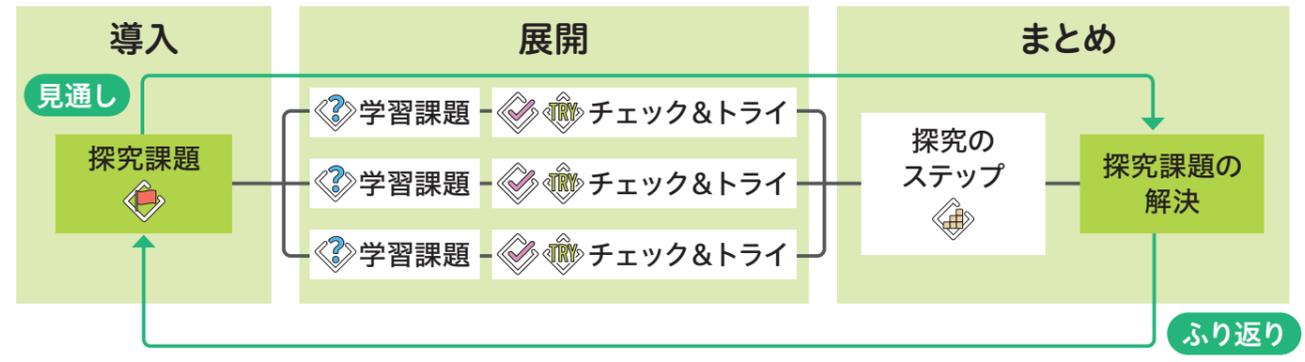
教科書の構成と学びの流れ	6	教師用指導書・学習者用デジタル教科書のご案内	28
特色① 課題解決的な学習にわくわくをプラス!	8	観点別特色一覧	30
特色② 紙とデジタルで学びがアップデート!	18	単元構成と配当授業時数	35
特色③ 生徒一人一人と社会がつながる教科書	22	代表者のことば	

「問い」を中心に課題解決的な学習を実現！

教科書の構成と学びの流れ

単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く**探究課題**を設定しました。1時間ごとの**学習課題**と単元を繰り返す活動（**探究のステップ**）を設けることで、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できる構成になっています。

問いの構造イメージ



課題をつかむ

導入

動機付け

方向付け

導入の活動では、章や節の学習を通して追究する「探究課題」を設定します。生徒が自ら課題を設定することで、学習の動機付けや学習の見通しの方向付けを行います。



探究課題
章や節を貫く問い

▶ 本書 p.8~11

課題を追 究する

展開

情報収集

考察

展開では、地理的な事象等の相互の関連を見たり、社会に向けて考察したりする学習を積み重ねます。意味や意義、特色について調べられる課題を把握して解決にみ重ねます。



学習課題
1時間の問い

チェック&トライ
1時間の振り返り

▶ 本書 p.12~13

課題を解決する

まとめ

振り返り

まとめ

これまで学んだことを振り返り、考察したことや構想したことを自分の言葉でまとめ、「探究課題」の解決に取り組みます。



探究のステップ
探究課題解決の前に

探究課題
章や節を貫く問い

▶ 本書 p.14~17

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

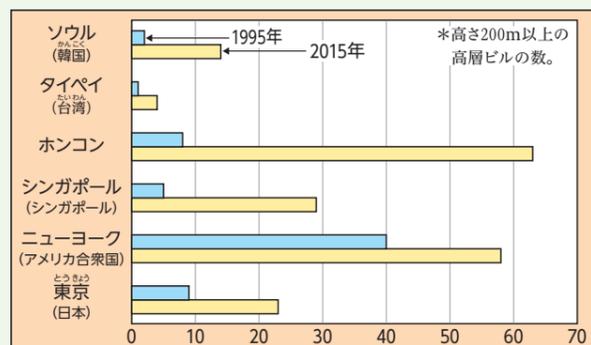
わくわくを誘う 学びの入り口

教科書 p.60~61の
実寸大

わくわくしたら、
次のページを
見てほしいのお



1 観光客も多く訪れるシンガポール (2018年)



聞かせて! 中学生

授業は早く終わるけど

シンガポールの ジャクソン さん

私の中学校は、朝の7時30分に始まって、13時30分には終わります。終わる時間は早いけど、シンガポールでは成績が優秀な生徒は授業料が免除されたり奨学金がもらえたりすることが多いから、放課後はみんな、塾や習い事で大いそがしです。最近学校では、生徒が自分たちで「掃除の時間」が始まりました。日本の学校のやり方がモデルなので、日本にならって「SOJ」^{掃除}とよんでいます。



「世界の諸地域」では、地域の様子を想像しながら学習を始められるよう、印象的な「一枚の写真」を採用し、地域の姿を映し出す「世界の窓」を新設しました。生徒の“わくわく”とともに、学びの見通しを持つことができます。

1 アジアの自然環境



3 熱帯雨林に生息するオランウータン (インドネシア スマトラ島)

2 アジアの都市と人口



4 高層ビルが立ち並ぶベキン (中国)

3 アジアの産業



5 スマートフォンの組み立て工場 (インド)

5 アジアの生活と文化



どんな材料から作られているのだろう?

7 インド南部で食べられているさまざまな種類のカレー

そうたさんが見た

世界の窓

- アジア編 -

アジアが見える窓からこんなことが見えたよ! みんなだったら、窓から何が見えるかな?

4 アジアの交通と通信



6 大都市での交通渋滞 (インドネシア ジャカルタ 2019年)

6 世界の中のアジア



▶ アジア州で学んでいくこと

1 アジア州をながめて自然環境や歴史、産業の特色

p.62~63でアジア州の探究課題を立てよう!

2 巨大な人口を支える中国「世界の工場」とよばれる工業大国の発展と課題
3 急速に変化する韓国工業製品や文化の輸出で発展する隣国とその課題

4 都市化が進む東南アジア工業化と都市化が進む中で見られる課題
5 人口増加が続く南アジアICT産業で急成長するインドとその課題
6 資源が豊富な西アジア・中央アジア資源にたよらない国づくりとその課題



課題解決的な学習にわくわくをプラス!

主体的な学びにつながる 導入ページ

「世界の諸地域」「日本の諸地域」の導入のページでは、概観ページと次の見開きを使って、**生徒が主体的に課題をつかめる**構成にしました。



課題をつかむ

課題を追及する

課題を解決する

1 1 1 アジア州

1 アジアの自然環境
熱帯雨林に生息するオランウータン(インドネシア スマトラ島)

2 アジアの都市と人口
高層ビルが立ち並ぶモスクワ(中国)

3 アジアの産業
スマートフォンを組み立てる工場(インド)

4 アジアの交通と通信
大都市での交通渋滞(インドネシア ジャカルタ 2019年)

5 アジアの生活と文化
どんな材料から作られているの?

6 世界の中のアジア
アジア 3103万人(世界全体の23.9%)
人口 46.4億人(世界全体の55%)

アジア州で学んでいくこと
1 アジア州をながめて
2 巨大な人口を支える中国
3 急速に変化する韓国
4 都市化が進む東南アジア
5 人口増加が続く南アジア
6 資源が豊富な西アジア・中央アジア

聞かせて! 中学生
授業は早く終わるけど
シンガポールのジャクソンさん

▲ p.60~61

新設 NEW

現地の中学生が語るエピソード満載!
「聞かせて! 中学生」計13か所

世界や日本の各地の中学生が自分が暮らす地域を語るコラムを新設。地域についてより身近に感じ、興味・関心を持てるようにしました。

新設 NEW

単元の見通しを持たせるコーナー

これから学習する内容を分かりやすく示し、見通しを持って学習に取り組めるようにしました。

▲ p.62~63

新設 NEW
探究の視点を明示!
課題をつかみ、追及しやすくするため、地域の学習の視点を分かりやすく示しました。

リニューアル
課題の設定場面を対話形式で分かりやすく提示
主体的・対話的な学びから生徒自身が課題をつかめるよう、課題設定の場面には対話の例を示しました。

「経済成長」からアジア州の探究課題を見つけよう!
アジアには、世界の人口の約60%が住んでいます。20世紀の後半以降、農村から工業化の進んだ都市へ多くの人々が移り住み、アジアの多くの都市で急速に人口が増加しました。これにより、豊富で資金の安い労働力を求めて、外国企業が多く進出するようになりました。また、人々の収入が増え、より多様な商品を購入できるようになることで、商品売場市場としても、アジア州の魅力が高まりました。一方で、人口の集まる都市では、住宅の不足や交通渋滞、大気汚染など都市問題も発生しています。

アジアでは急速に経済が発展した都市や地域が多くあります。ほかにアジアの経済発展やその理由が読み取れる資料がないか、60~63ページから探してみましょう。

アジアでは急速に経済が発展した都市や地域が多くあります。ほかにアジアの経済発展やその理由が読み取れる資料がないか、60~63ページから探してみましょう。

▶ 導入ページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

1時間の学習の流れを「見える化」

本文や資料、「チェック&トライ」、インデックスやQRコードなど、紙面の要素を定位置に配置。学習の流れを「見える化」したことで全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。



1時間の学習の流れ

1 導入資料
1時間の課題をつかむきっかけとなる資料を大きく掲載しています。

2 学習課題
このページで学習する内容について、見通しを持つことができます。

3 本文
学習内容を分かりやすく文章にしています。重要な用語などは太字で示しています。

4 チェック&トライ
1時間の学習の最後に取り組んで、学んだことをふり返ります。

新設 NEW

生徒の興味・関心を誘うサブタイトル

世界のパソコン、ほぼ中国製?

本時の内容の上に、生徒の興味・関心を誘うサブタイトルを設けました。

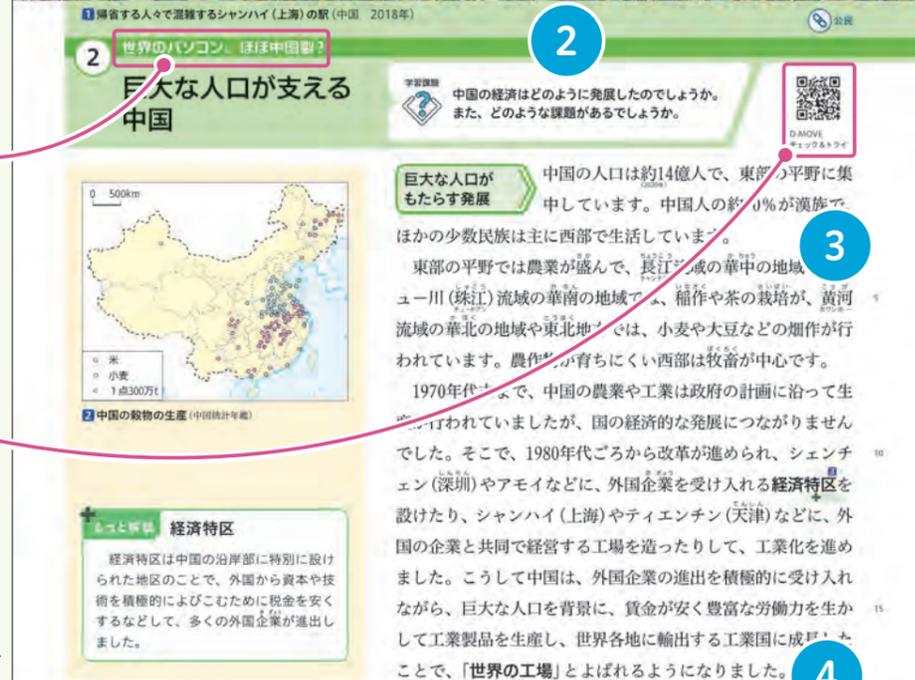


新設 NEW

QRコードを定位置に掲載!

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもQRコンテンツを活用できます。

詳しくは、本書p.20~21をご覧ください。



新設 NEW

検索に便利なインデックス

学びのまとまりごとにインデックスを付け、検索性を高めました。

リニューアル

整理された活動コーナー

で、一人あたりの総生産額が高い地域が沿岸部に集まっている理由を考えましょう。

小学校の社会科や「スキル・アップ」で身に付けた技能を活用しながら資料を読み取ったり考えたりするコーナーに、🔍を付けました。また、見方・考え方を働かせる視点の例は、👁️で示しました。

本文ページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

学びを実感! 学習のまとめ

学習のまとめのページを大幅に見直しました。
段階的に取り組むことで、単元を貫く探究課題の解決につなげます。
問いを軸にした課題解決的な学習によって地域の特色を捉えることができます。



探究課題解決の流れ

1 確かめよう

単元で学んだ知識を地図などで確認します。

2 ふり返ろう

確認した知識をもとに、学習をふり返ります。

3 まとめよう

思考ツールなどを用いて考えを整理し、探究課題の解決につなげます。

4 探究課題を解決しよう

③でまとめた自分の考えをもとに、探究課題の解決に取り組みます。

新設 NEW

評価の観点の明示

「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のアイコンを示し、評価の観点との関連が分かりやすくなりました。

- 知識
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

新設 NEW

自分の言葉で用語を説明! ワードチェック

本文に登場した用語を自分の言葉で説明できるか確認するコーナーです。学習のふり返りや、言語活動にも活用できます。

まとめの活動 アジア州の学習をまとめよう

マークのあるものは右のコードからデジタルコンテンツにアクセスできます。

分からないときは、下の「ワードチェック」や教科書をふり返りましょう。

1 確かめよう [知識] [D]

1. A~Fに当てはまる国名を答えましょう。
2. ①~⑥に当てはまる語句を答えましょう。

1 アジア州を「かめて」 p.62~63

- 降水が多い平野では【 ⑦ 】を中心とした農業
- 【 ⑧ 】という季節風の影響で、季節がはっきりしている

2 巨大な人口を支える中国 p.64~65

- 世界各地に工業製品を輸出し、【 ⑨ 】とよばれる沿岸部と内陸部で【 ⑩ 】が広がる

3 急速に変化する韓国 p.66~67

- 【 ⑪ 】という文字を使用
- 首都の【 ⑫ 】に人口が集中

4 都市化が進む東南アジア p.68~69

- 大農園の【 ⑬ 】で輸出のための作物を生産
- 東南アジアのほとんどの国が【 ⑭ 】に加盟

5 人口増加が続く南アジア p.70~71

- 【 B 】では、人口の約80%が【 ⑮ 】を信仰
- 教育水準の高さから、【 ⑯ 】産業が成長

6 資源が豊富な西アジア・中央アジア

- 人口の大部分が【 ⑰ 】を信仰
- 産油国で作る【 ⑱ 】を通して結びつく

地図でまとめたアジア州

2 探究のステップでふり返ろう [主体的に学習に取り組む態度] [D]

探究のステップ アジア州では、「経済発展」に注目して学習してきました。

60~73ページから次の内容を表す資料を探しましょう。

経済発展したことが分かる資料 (資料)

経済発展による変化や課題が分かる資料 (ページ) (資料)

ワードチェック [知識] [D]

以下の用語について、どのような意味か、自分の言葉で説明しましょう。うまく説明できない場合は、掲載されていたページをふり返って確認しましょう。

- モンスーン p.62
- 雨季 p.62
- 乾季 p.62
- 経済特区 p.64
- プランテーション p.64
- 東南アジア諸国連合(ASEAN) p.68

3 「見方・考え方」を動かして探究課題に答えよう [思考・判断・表現] [D] [Q] 結び付き 地域

地域・国	経済が成長した理由	経済成長による変化と課題
中国	・外国企業を受け入れる経済特区を設けた。	
韓国	・高い技術が必要とするハイテク産業を発展させた。	
東南アジア	・植民地時代からのプランテーションで栽培した商品作物を輸出した。	
南アジア		・富裕層と貧困層との経済格差が拡大している。
西アジア・中央アジア		

経済が成長した理由と、それによる変化や課題についてまとめた例(途中のもの)

みんなでチャレンジ

(1) **グループ活動** 左ページの「探究のステップ」で挙げた資料をグループで発表し合ひましょう。

(2) **個人活動** (1)を基に、それぞれの地域や国で経済が成長した理由と、それによって起きた変化や課題を②に書きこみ、図を完成させましょう。

(3) **個人活動** 完成した表を参考に、経済成長した理由や、それによって起きた変化や課題について、多くの地域に共通する点に線を引きましょう。

探究課題を解決しよう

アジア州は

上の②を見ると、多くの地域で経済発展したことで課題が見られることが分かるね。

いくつかの地域を事例に、アジア州の探究課題を自分の言葉でまとめよう。

という特色のある地域です。

4 地球的課題をふり返ろう

以下の資料は、アジア州における地球的課題とそれに対する取り組みが読み取れるものです。それぞれがどのような内容なのか、これまでの学習をふり返って説明してみましょう。

成長することで起こっている課題を、どのような取り組みで解決しようとしているのかな。

③ 新しい交通渋滞が発生している様子(タイ・バンコク 2018年)

④ 高層鉄道が整備された様子(タイ・バンコク 2019年)

会話の流れがヒントになる!

探究課題を解決しよう

自分の言葉で課題の解決に取り組むコーナーです。キャラクターの会話で解決へと導きます。

探究課題を解決しよう

アジア州は

上の②を見ると、多くの地域で経済発展したことで課題が見られることが分かるね。

いくつかの地域を事例に、アジア州の探究課題を自分の言葉でまとめよう。

という特色のある地域

新設 NEW

学習をふり返るコーナー

「世界の諸地域」では、資料から地球的課題をふり返るコーナーを設けました。資料から課題を読み取る力を身に付けられます。

▶ まとめページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス!

多様なツールで 思考を整理

まとめページでは、自らの思考を整理するさまざまなツールを用意しました。紙の教科書とQRコンテンツを組み合わせることで、より多様な活動が展開できるようになりました。



「新編 新しい社会 地理」に掲載の思考ツール

探究のステップ 第2章では、日本を(位置や分布)に注目して学習してきました。

① 右ページでは、導入の活動で作った日本の都道府県のクイズカードの「上級編」を作成します。このクイズでは、三つのヒントを使って答えを特定できるようにします。

② 右の図は「ベン図」とよばれるものです。この図を使うと、三つのヒントに当てはまる答えを整理しやすくなります。右ページでは、実際にベン図を活用して、クイズを作成しましょう。

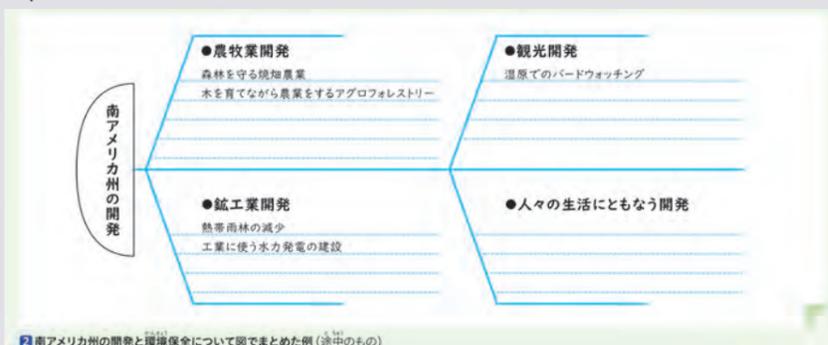
ベン図とは? 何かを比べたり、分類したりするとき、共通点や相違点を見つけるのに便利なツールです。

▲ p.33「ベン図」を使った例の解説



◀ p.267 「ウェビング」を使ったまとめの例

▼ p.127「フィッシュボーン」を使ったまとめの例

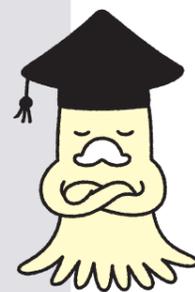


南アメリカ州の開発と環境保全について図でまとめた例(途中のもの)

教科書に掲載の主な「思考ツール」

教科書ページ	内容
p.33	ベン図
p.75	マトリックス (表)
p.101	ステップチャート
p.127	フィッシュボーン
p.267	ウェビング
p.275	ステップチャート
p.277	ツールミン図式

自分の考えが目に見える形になると整理しやすくなるのよ



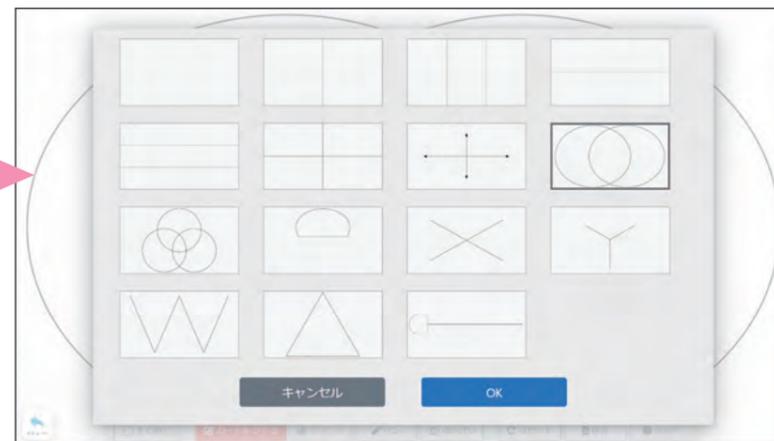
QRコンテンツでも思考ツールが充実!

教科書に示した思考ツール以外も選択できるので、自分なりの方法で思考を整理することができます。

▶ 本書 p.19もご覧ください。

使いたい思考ツールを自由に選べる!

こちらから実際に試せます



付せんのように自在に入力!

こちらから実際に試せます



紙とデジタルで学びがアップデート!

さまざまなシーンに最適なQRコンテンツ

導入・展開・まとめの学習段階に応じて最適なコンテンツを用意しました。
生徒の**個別最適な学び**や**協働的な学び**を支えます。

学びのシーンに合った
便利なQRコンテンツが
用意されているのじゃな



導入



導入ページでは、
学習内容をイメージできる
「導入クリップ」や白地図
データ、統計コンテンツなど、
学習の入口に役立つ
コンテンツを用意しました。

◀ p.232~233

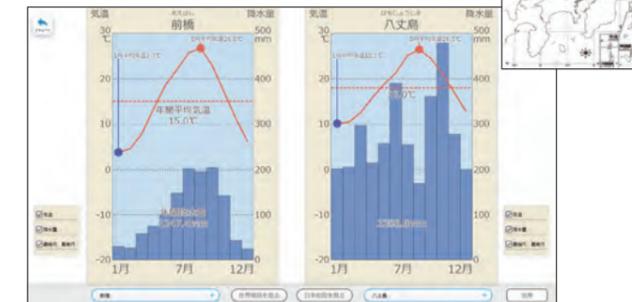


導入クリップ (動画)

授業のレディネスチェックとして、予習のための課題としても活用できます。

地理の学習に 便利なコンテンツ

白地図データや「比べる雨温図」、統計
コンテンツなど、地理の学習に便利なコ
ンテンツをそろえています。



展開

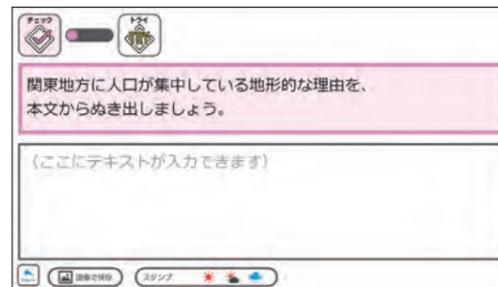


本文ページでは、
スキル・アップの解説や
NHK for School等の
動画、シミュレーション
などを用意しました。

◀ p.236~237

チェック&トライ

1時間の授業のまとめとして、学習の振り返りとして活用できます。入力した解答は画像で保存できます。



D-MOVE (動画)

インタビュー動画やNHK for schoolなど、授業で活用できる短時間の動画を多数用意しました。すべて自社サーバーからの配信なので継続してアクセスでき、安心して活用できます。

*教科書の使用期間を想定しています。



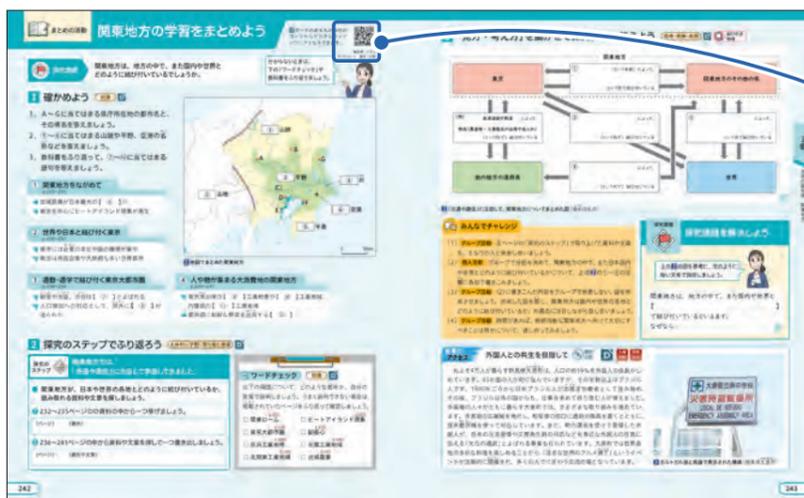
地図帳 (他分野紙面)

学習内容に関連する地図帳や他分野の紙面を見ることができます。

▶ 本書p.25をご覧ください。



まとめ



まとめページでは、
学習の振り返りや
思考の整理に活用できる
思考ツールなどを
用意しました。

◀ p.242~243



確かめよう (知識の確認)

学習した内容を振り返り、地図などで知識を確認できます。

まとめの活動コンテンツ

端末を使って自らの考えを入力し、図で整理することができます。



多彩なQRコンテンツで学びをサポート

紙面上はこのマークが目印!



右のコードから
実際のコンテンツを
見てみましょう!



導入クリップ (動画)



学習の入口に活用できる動画コンテンツです。これからの学習をイメージすることができます。

なるほど! スキル・アップ (動画)



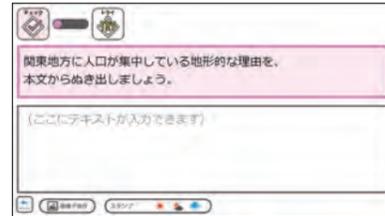
技能習得コーナー「スキル・アップ」を動画で解説するコンテンツです。楽しくスキルを身に付けられます。

D-MOVE (動画)



「NHK for school」など授業中に使える動画を多数用意しました。すべて自社サーバーからの配信なので継続してアクセスでき、安心して活用できます。
*教科書の使用期間を想定しています。

チェック&トライ



毎時間の「チェック&トライ」の問いに解答を入力できるコンテンツです。解答は画像で保存できます。

やってみよう! スキル・アップ



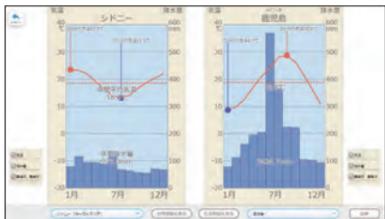
技能が身に付いたか、クイズなどで繰り返し確認できるコンテンツです。

世界の国旗



世界の全ての国の国旗を表示できるコンテンツです。首都の名称も確認できます。

比べる雨温図



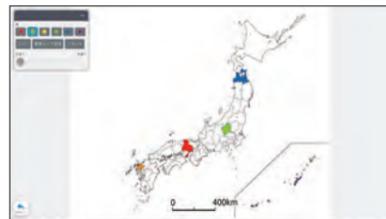
2つの雨温図を並べて表示できるコンテンツです。教科書に掲載の雨温図を全て収載しています。

VRで見る世界の植生



世界の植生をVRで見ることができるコンテンツです。360°の臨場感のある景観を身近に感じられます。

白地図をぬってみよう (世界・日本)



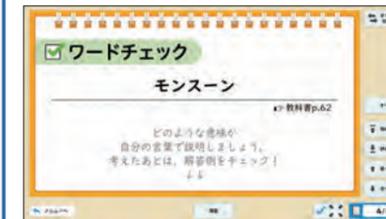
クリックだけで簡単に色を塗ったり消したりできる白地図です。世界地図と日本地図があります。

世界の国クイズ



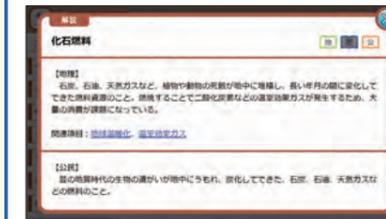
世界の国々をクイズで楽しく覚えられます。世界の国を知ることで、地理の学びは広がります。

ワードチェック



学習した用語を理解できたか確かめることができるコンテンツです。

社会科用語マスター



歴史・公民の用語も含めたデジタル版の用語解説です。教科書の編集委員が監修しているの、いつでも安心して活用できます。

デジタル地球儀 My Globe

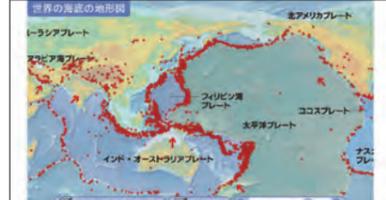


拡大・縮小や回転といった操作が簡単かつ自在にできるデジタル地球儀です。日本の大きさ表示や平面地図への切り替えもできます。

世界と日本の統計

表示項目の選択や、数値の昇順降順による並べ替えができる便利な統計コンテンツです。

地震の震源とプレートの境界



地震の震源とプレートの境界を重ね合わせた地図で、必要な要素のみを表示することができます。

D-MOVEの例

- 国旗の由来、国名の由来
- 緯度と経度
- 地球儀と世界地図
- 時刻は国で違う?
- 日本の南の端 沖ノ鳥島
- 砂漠の暮らし
- マレーシア 多様な宗教
- 変わりゆく韓国の食文化
- なゼインドでICTが発展した?
- ドイツ 環境問題への取り組み
- EUの課題
- アフリカの歴史 植民地支配
- アメリカ合衆国の農業
- 減り続けるアマゾンの熱帯林
- 白豪主義から多文化主義へ
- 自然災害が多い日本
- 北九州市の取り組み エコタウン事業
- 中国・四国地方の交通
- 西日本の中心 大阪府
- 輪中地帯の暮らし
- 渥美半島の電照菊
- とともに生きる日本人とブラジル人
- 秋田竿燈まつり
- 北海道の開拓とアイヌ民族

教科書からアクセスできるQRコンテンツ

内容	コンテンツ数
動画 (NHK for school、導入クリップ、なるほど! スキル・アップを含む)	128
チェック&トライ	79
思考ツール (まとめの活動など)	19
他分野・他教科リンク	20
地理院地図 (外部リンク)	6
社会科用語マスター	1
デジタル地球儀「My Globe」	1
その他	97
合計	351

一人一人の資質・能力を育てる工夫

まさに個別最適じゃないカ!



地理を学ぶ視点が分かりやすい

新設 NEW

「地理を学ぶ5つのミカタ」
「地理のミカタ」

地理の学習でくり返し働かせる**地理的な見方・考え方**を、小学校社会科教科書に掲載している庄内平野の写真を題材に分かりやすく整理しました。教科書の冒頭にあるので、いつでもふり返って確認できます。

地理を学ぶ5つのミカタ

地理の学習では、ここに示した5つのミカタ(視点)を意識して働かせてみましょう。写真や地図、あるいは身の回りの景色など、目に見えるあらゆる物事や現象を見るときに、これらの5つのミカタを通して見ると、学習がより楽しく、深まっています。5つのミカタを味方につけて、学習を進めていきましょう。

位置や分布

それはどこにあるのだろう。
どのように広がっているのだろう。

庄内平野は、東北地方にあって、日本海に面しているね。

人と自然のかかわり

人々の暮らしと自然環境は、どうかかわり合っているだろう。

日本海側は、冬に降水量が多い場所だったね。

場所

そこはどのような場所だろう。

平野には、見わたす限り水田が広がっているね。

空から見た庄内平野(山形県酒田市周辺)
小学校

結び付き

ほかの場所からどのような影響を受けているだろう。
ほかの場所にもどう影響をあたえているだろう。

建設中の道路は、どこへつながっているのだろう。

地域

どのような地域をめざしたらよいだろう。

庄内平野は、これからどのように発展していくのでしょうか。

地理のミカタ

上の5つのミカタをはじめとらえる場面に、ヒントを示しています。このページをふり返って確認しましょう。

「地域」は、共通する性格や結び付きの強い場所でもめたり、ちがいで区切ったりした範囲の広がりのことです。例えば、「日本海側の地域」や「東京に通動する人が多い地域」といったようにまとめることができます。「地域」はほかの場所の影響や時代によっても変化するので、「どう変わったのか」、「なぜ変わったのか」を考えることが重要です。

人と自然のかかわり

この活動のコーナーで、特に働かせる地理のミカタを示しています。参考に、活動に取り組みましょう。

位置や分布 地域

ここで、一人あたりの総生産額が高い地域が沿岸部に集まっている理由を考えましょう。

地理のミカタ → p.6

日本の特色をとらえるには、〈導入の活動〉で考えた特色が、どの地域にどのように分布しているかということに注目することが大切です。この章では特に「地域」と「位置や分布」に注目しましょう。

▲ p.157「地理のミカタ」

学習の始まりの場面などでは、「地理のミカタ」コーナーを設け、どのような見方・考え方を働かせるか、丁寧に示しました。

地理的な見方・考え方を働かせる場面

▲ p.6「地理を学ぶ5つのミカタ」

▲ p.65「巨大な人口を支える中国」

対話的な活動で学びを深める

「みんなでチャレンジ」

学習のさまざまな場面で対話的な活動を促すコーナーです。具体的な活動がイメージできるように**個人活動**、**グループ活動**を明記しました。対話から他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整していくことで主体的に学習に取り組む態度を養います。

計28か所

p.179 みんなでチャレンジ「地域区分にチャレンジしよう」

みんなでチャレンジ

地域区分にチャレンジしよう

(1) **個人活動** 右の図を次の視点で地域区分して、線で囲みましょう。
●一人暮らしの世帯が多い地域
●店A、店Bで買い物をする人が多い地域

数字…その世帯の人数
●…店Aでよく買い物をする世帯
●…店Bでよく買い物をする世帯

(2) **グループ活動** グループでそれぞれが作った地域区分を見せ合い、区分のちがいがいいその理由を話し合みましょう。

地理の学習に必要な技能を確実に定着

「スキル・アップ」

地理の学習に欠かせない基礎的な技能を段階的に身に付けるコーナーです。**D**のアイコンがあるスキル・アップでは、QRコンテンツ「なるほど!スキル・アップ」(動画)をご用意。くり返し見ることで楽しくスキルが身に付けられます。

計31か所

スキル・アップ 16 「地理院地図」の使い方

「地理院地図」は、だれでもインターネットで見ることが出来る地図です。日本の各地を切れ切れなく表示でき、自由に拡大、縮小したり、層高によって色分けをした地図や三次元の地図、過去の空中写真などを表示することができます。

空中写真を並べてみよう
「地理院地図」では、空中写真を並べて表示することができます。撮影時期が異なる空中写真を並べて表示すると、地域の変化を読み取ることができます。

「自然災害伝承碑」を探そう
「地理院地図」では、過去に発生した津波や洪水などの自然災害の様子などが記された石碑やメモを自然災害伝承碑という記号で表示しています。

QRコードから解説動画へリンク!

空中写真を並べる
撮影時期が異なる写真を並べると地域の変化を読み取ることができる

▲ p.149 スキル・アップ16「地理院地図」の使い方

資料を読み解く力を鍛える

「資料から発見!」

写真やグラフ、地図などの資料を読み取る力を身に付ける特設ページです。第1学年の「世界の諸地域」の各州ごとに設けています(p.76、90、102、116、128、140)。

p.76 ▶

資料から発見!

資料を活用する力をきたえよう①

社会科の学習では、多くの写真や地図、グラフなどの資料が出てきます。地理では、それぞれの資料は、その資料に関する地域の様子や課題を表しており、こうした資料を読み取って考えることで、その地域の特色とらえることができます。ここでは、アジア州の学習で出てきた資料を使って、これまでの「スキル・アップ」で身に付けた技能も生かしながら、資料を読み取る力や、考える力、説明する力をきたえていきましょう。

資料を比較して考える

アジアの降水量
アジアの人口密度

資料を結び付けて考える

今と向き合い これからのを考える教科書



東京書籍が大切にしてきた「5つのテーマ」

「新編 新しい社会」は、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成するために、地理・歴史・公民の分野の枠をこえて貫く「5つのテーマ」を大切にしています。

▶ 本書p.34「現代的な諸課題と教材の対照表」もご覧ください。

巻頭3~p.1 ▶

▲ p.255

▲ p.169

▲ p.103 ▼

▲ p.77

▲ p.229

▲ p.58

環境 エネルギー

防災 安全

情報 技術

人権 平和

伝統 文化

世界をながめる 持続可能な社会の実現に向けて

鉄道が支える地域の復興

ムスリムの暮らしを知ろう

地場産業の新たな挑戦

情報化で変わるアフリカの暮らしと社会

SDGsって何だろう?

分野や教科の垣根をこえて 「これからの社会のあるべき姿」を考える

社会科の3分野や他教科でも扱う学習内容には、分野関連と教科関連を示す⑤を示しました。また、小学校社会科で学習した内容にも⑥小学校を示し、小学校との関連を図っています。

▼ 地理 p.28~29「北方領土・竹島と尖閣諸島」



地理

他分野や他教科の関連ページの教科書紙面がQRコードからアクセスできます!

歴史

公民



▲ 歴史「領土をめぐる問題の背景」



▲ 公民「領土をめぐる問題の現状」

これからの社会をともに考える

コラム「未来にアクセス」

計21か所

持続可能な社会の実現に向けて、各地で見られるさまざまな取り組みから考えるきっかけとなるコラム「未来にアクセス」を新設しました。

「新編 新しい社会 地理」に掲載の「未来にアクセス」一覧

- | | | |
|-----------------------------|----------------------------|------------------------|
| どうなる? 永久凍土 (p.39) | 雨が多いのに足りない? 沖縄の水事情 (p.195) | 外国人との共生を目指して (p.243) |
| 尾根に草が生えている理由 (p.50) | 世界とつながる広島県 (p.201) | 長引く原発事故の影響 (p.253) |
| SDGsって何だろう? (p.58) | プログラミングで地域おこし (p.205) | 資源を生む町への再生 (p.255) |
| 分断が続く朝鮮半島 (p.67) | ごみを出さない地域づくり (p.207) | 森が育てる豊かな海 (p.261) |
| 環境に優しい都市交通とパークアンドライド (p.85) | 阪神・淡路大震災の教訓 (p.215) | 今に受け継がれるアイヌの文化 (p.267) |
| 奇跡とよばれたルワンダの成長 (p.99) | 歴史的な町並みをつくる? (p.219) | |
| 観光と環境保護の両立を目指す島 (p.123) | 地場産業の新たな挑戦 (p.229) | |
| バイオエタノールは夢の燃料? (p.125) | 富士山は美しい山? (p.231) | |

他教科との関連

QRコードからアクセスできる他教科の紙面

地理教科書	教科・分野	関連する学習内容
p.24	理科	地球の自転と方位、時刻
p.25	数学	正負の数の加法、減法
p.80	理科	大気の動きと天気の変化〈偏西風〉
p.151	技術	情報モラル
p.153	国語	手紙の書き方
p.153	書写	書写活用ブック(手紙)
p.162	理科	大気の動きと日本の天気(季節風)
p.164	理科	火山噴火、地震の災害
p.165	理科	気象現象がもたらす恵みと災害



理科

誰一人取り残されない学びのために

一人一人にとって使いやすく学びやすい教科書であることを、東京書籍は大切にしています。
多様性に配慮し、誰一人取り残されない学びのために、あらゆる工夫をしています。

資料掲載部分に背景色を入れて 本文部分との区別を明確に

資料の掲載部分に薄い色を付けることで、本文との区別を視覚的に分かりやすくしました。



1 帰省する人々で混雑するシャanghai (上海) の駅 (中国 2018年)

2 世界のパソコン、ほぼ中国製?

巨大な人口が支える中国



学習課題 中国の経済はどのように発展したのでしょうか。また、どのような課題があるのでしょうか。



D-MOVE チェック＆トライ

巨大な人口がもたらす発展 中国の人口は約14億人で、東部の平野に集中しています。中国人の約90%が漢族で、ほかの少数民族は主に西部で生活しています。

東部の平野では農業が盛んで、長江流域の華中の地域や、チューン川(珠江)流域の華南の地域では、稲作や茶の栽培が、黄河流域の華北の地域や東北方では、小麦や大豆などの畑作が行われています。農作物が育ちにくい西部は牧畜が中心です。

1970年代末まで、中国の農業や工業は政府の計画に沿って生産が行われていましたが、国の経済的な発展につながりませんでした。そこで、1980年代ごろから改革が進められ、シェンチェン(深圳)やアモイなどに、外国企業を受け入れる**経済特区**を設けたり、シャanghai(上海)やティエンチン(天津)などに、外国の企業と共同で経営する工場を造ったりして、工業化を進めました。こうして中国は、外国企業の進出を積極的に受け入れ

巨大な人口を背景に、賃金が安く豊富な労働力を生かして、世界に成長しました。しかし、

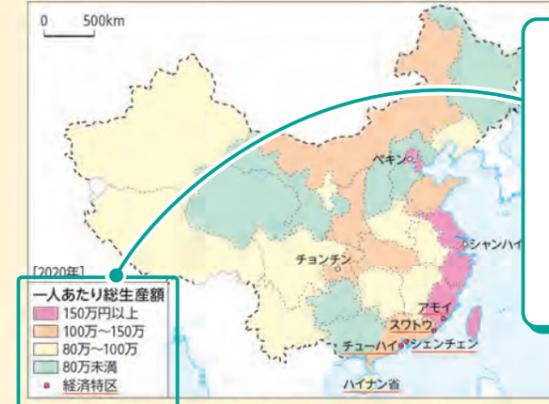
QRコードを 定位置に掲載!

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもQRコンテンツを活用できます。

▶ QRコンテンツは、本書p.20~21をご覧ください。

重量負担への配慮

QRコンテンツへの移行や学習内容の見直しなどによって、教科書の総ページ数を8ページ削減し、約2.4%の総重量の軽量化を実現しました。



3 中国の地域別の一人あたり総生産額 (中国統計年鑑 2021ほか)

3で、一人あたりの総生産額が高い地域が沿岸部に集まっている理由を考えましょう。

カラーユニバーサルデザインに全対応

- 専門家の助言をもとに色覚特性の観点から紙面や図版を見直し、カラーユニバーサルデザインに全面的に対応しました。
- グラフや地図は、色覚特性のある生徒でも見分けられる色の組み合わせを採用しました。



▲色覚特性による見え方の変化の例 (左:1型2色覚、右:3型2色覚)

4 世界の電子機器の生産に占める中国の割合 (電子情報技術産業協会資料)

長年にわたる「一人っ子政策」などの影響で人口増加が抑えられてきたため、少子高齢化も急速に進んできています。

都市化と環境問題 経済の成長によって、農村からの出かせぎ労働者などが集まったことで、多くの都市では人口が増加し、都市の周辺では工場や住宅の建設が相次ぎました。こうした急速な都市化に環境対策が追いつかず、工場や自動車、家庭からの排煙や排ガス、排水による大気や河川、湖の汚染など、深刻な環境問題が起こりました。中国政府は、工場への規制を強めたり、再生可能エネルギーを積極的に導入するなど、環境対策に力を入れています。

格差の拡大と内陸部の開発 沿岸部の都市が成長する一方で、工業化が後れている内陸部の農村には仕事と収入を求めて都市に出かせぎに行く人々が多くいます。中国では、こうした沿岸部と内陸部との**経済格差**の広がり大きな問題になっています。中国政府は、地域間の格差をなくすために、2000年ごろから内陸部の大規模な開発を始めました。鉄道や道路などの交通網を整備し、自動車工場などを建設することで、多くの人に仕事を生み出す産業の育成にも力が入られています。

TRY 中国の経済成長によって起こった課題に対する、対応策について説明しましょう。

▲ p.64~65

全ての文字を 読みやすく

教科書の全ての文字に、字形を判別しやすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を採用しました。



5 大気汚染が悪化した日の北京 (中国 2018年)



6 中国の都市人口と農村人口の割合 (中国統計年鑑 2021年版)

学習者用デジタル教科書では、文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書きで表示したりするなど、特別支援教育に対応しています。

▶ 本書p.29もご覧ください。

学習に集中できる フラットデザイン

不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、シンプルなデザインにしました。

大きく見直し、サポートを充実!

教師用指導書のご案内

指導編(朱書)を新規発行し、サポートを大幅に充実させます。経験の浅い先生も安心してご指導いただけます。

指導編(朱書) **NEW**

指導編(朱書)クラウド配信版 **NEW**

- 教科書の展開に沿って、学習の流れや本時の要点、QRコンテンツの活用ポイントなどが分かります。
- 教科書と同じ表紙・体裁で、授業中にも活用できます。
- 端末で利用できるクラウド配信版を用意いたします。校内フリーライセンスです。

研究編

- 教科書掲載資料の授業での活用方法や詳しい解説が分かります。
- 単元ごとの「問いの構造図」を掲載します。

教師用指導書ラインアップ(予定)

- 指導編(朱書)
- 指導編(朱書)クラウド配信版
- 研究編
- 指導書コンテンツライブラリー
- 指導者用デジタル教科書(教材)

※本ページで紹介している製品は企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。

指導書コンテンツライブラリー

これまで教師用指導書付属DVD-ROMで提供していたコンテンツをウェブサイトで配信いたします。

〈配信予定コンテンツ〉

- 評価問題
- 「本時の要点」テキストデータ
- 教科書本文テキスト
- 総ルビ・分かち書きの教科書紙面
- 指導書付属「My Globe」(デジタル地球儀)
(一般図/世界の国々/時差/衛星写真/地理院地図/夜景/白地図/地形/気候区分/1月の降水量/7月の降水量)
- 年間指導計画案
- ワークシート
- 教科書図版集
- 白地図データ

そのほか、Google Workspace for EducationやMicrosoft Teamsで利用できるコンテンツを配信予定です。先生方の授業をサポートできるよう、コンテンツは随時更新していきます。

※Google、Google Workspace for Educationは、Google LLCの商標です。
※Microsoft、Microsoft Teamsは、マイクロソフトグループ企業の商標です。

指導者用デジタル教科書(教材)

教師用指導書同梱購入可能

電子黒板を使用した指導に最適な掲示型教材です。写真やグラフなど、教科書の「見せたいところ」をクリックするだけで提示でき、教科書のQRコンテンツなどにもリンクできます。

〈主な搭載機能・コンテンツ〉

- マスク表示
生徒から引き出した教科書の内容(既定)で、マスクを表示することができます。
- MY教科書エディタ
教科書のテキスト、写真、図版などを自由に取こんでレイアウトできるほか、テキストのアレンジやお持ちの写真データを貼り付けて、オリジナルの教材を作ることができます。
- 指導者用オリジナルの図版コンテンツや動画コンテンツ
- 教科書のQRコンテンツ

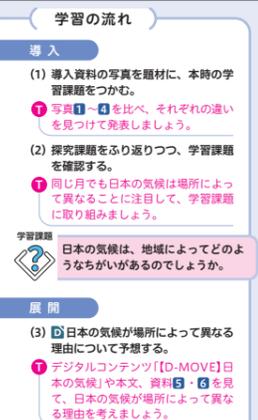


▲指導書付属「My Globe」時差の表示画面イメージ



▲指導者用デジタル教科書(教材)の画面イメージ

▼指導編(朱書)の紙面イメージ

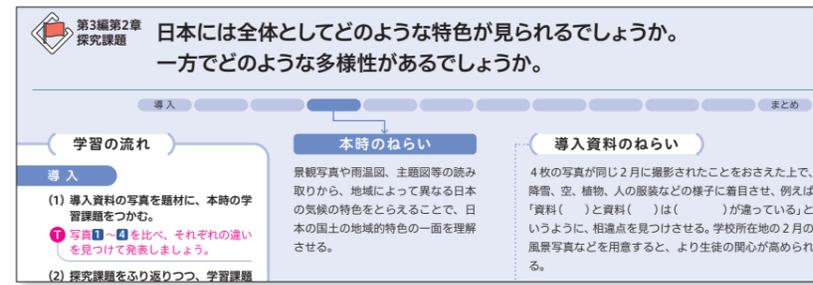


学習の流れ

生徒が主体となる学習活動に沿って、教師の発問例を示しています。

探究課題・本時のねらい・導入資料のねらい

単元を貫く問いを常に意識できるよう、探究課題を示しています。また、1時間ごとの目標を示す「本時のねらい」と、「導入資料のねらい」を示しています。



学習者用デジタル教科書

1 複数の教科書を一括管理

東京書籍をはじめ複数の発行者などが採用しているビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科書を一括管理でき、教科横断的な学習に便利です。

2 学習を支える便利な機能

教科書に、ペンツールで自分の考えを書き込んだり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。また、教科書のQRコードをクリックして連携するコンテンツを利用することができます。

3 特別支援教育への対応

文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書き紙面に切り替えることができるので、生徒一人一人が自分の読みやすい教科書にカスタマイズできます。

※Lentranceは、日本国、米国、及びその他の国における株式会社Lentranceの登録商標または商標です。



教育基本法との対照表

教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 地理』の内容の特色	教科書の該当箇所
第1号： 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健全な身体を養うこと。	● 学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す大きな「導入資料」を設け、主体的な学びを促すとともに、真理を求める態度を養えるようにしました。 →本書 p.10-11 参照	全体（特に p.60-61、184-185 など）
	● 単元は問いによって構造化されており、単元を貫く課題（探究課題）、各見開きの「学習課題」と「チェック&トライ」の解決を通して、課題解決的な学習ができるように構成されています。 →本書 p.6-7 参照	全体
	● 本文は、丁寧に分かりやすく、事象の背景や因果関係を例示を交えて説明することで、社会的な事象を捉えて幅広い知識と教養が身に付けられるようにしました。	全体
	● 「地理的な見方・考え方」を働かせた「深い学び」が実現できるよう、教科書の冒頭に「地理を学ぶ5つのミカタ」を設け、繰り返し参照できるようにすることで、見方・考え方を捉えられるようにしました。 →本書 p.22 参照	p.6「地理を学ぶ5つのミカタ」 p.35 など「地理のミカタ」
第2号： 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	● 「スキル・アップ」コーナーを設け、写真・雨温図・統計地図・グラフといった資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法などの技能を生徒自身が身に付けることで、社会的事象を読み解く能力を伸ばし、自主と自律の精神を養えるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.144-155 など
	● 第3編第1章「地域調査の手法」では、聞き取り調査などで訪問する相手へ調査をお願いする際の手紙の例などを丁寧に示し、主体的に社会に関わる意識や態度を養えるようにしました。	p.153 など
	● 第3編第3章「日本の諸地域」では、日本の各地で活躍する人のインタビューを取り上げ、社会に参画する意識を高め、勤労を重んじる態度を養えるようにしました。	p.241 など計7か所
	● 第3編第4章「持続可能な地域の在り方」では、身近な地域の将来像について話し合ったり発表し合ったりする対話的な学習場面を充実させ、より良い地域づくりに主体的に参画する態度や意識を養えるようにしました。	p.269-279
	● 色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを全面的に採用したほか、使用するすべての文字を誰もが読みやすいように改善された「ユニバーサルデザインフォント」とし、不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を取り入れたことで、さまざまな特性を持つ生徒の価値を尊重するとともに、その能力を伸ばせるようにしました。 →本書 p.26-27 参照	全体
	● 「みんなでチャレンジ」コーナーを随所に設け、活動を通して他者の考えを尊重しながらグループで対話したり、協力しながら活動する場面を示すことで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育成できるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.15、21、23、26、30、33、35、59 など多数
第3号： 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● 「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の生き生きとした姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにし、生徒の勤労観を養えるようにしました。	p.99 など多数
	● 第3編第4章「持続可能な地域の在り方」では、「身近な地域をより良くするためにはどうしたらよいか」という視点から、地域の課題や変容に注目したり、地域の将来像を提案したりする活動を充実させることで、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。	p.269-279

教育基本法 第2条	『新編 新しい社会 地理』の内容の特色	教科書の該当箇所
第4号： 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 全編を貫く5つのテーマの1つとして「環境・エネルギー」に関する題材を積極的に扱うとともに、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げ、環境保全に寄与する態度を高められるようにしました。	p.85、123、125 など
	● 第2編第1章「人々の生活と環境」では、異なる自然環境で暮らす人々を取り上げ、工夫しながら環境に適応して生活する人々への理解を深めることで、自然環境への意識を高められるようにしました。	p.34-51 など
	● 巻頭や巻末では、世界各地の食事や主な家畜、鉱産資源、農産物を取り上げ、限られた資源への理解を深めるとともに、生命を尊び自然を大切にすることを養えるようにしました。	巻頭1-2、巻末1-2
第5号： 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 全編を貫く5つのテーマの1つとして「伝統・文化」に関する題材を積極的に取り上げ、我が国の伝統文化への理解を深めるとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を養えるようにしました。	全体（特に p.50-51、248-249 など）
	● 第1編第1章「世界の姿」では、23か国の国旗（日本を除く）を取り上げ、信仰する宗教との関係などの国旗の由来に触れることで、他国やその国で暮らす人々の文化を尊重する態度を養えるようにしました。	p.13、14 など
	● 第1編第2章「日本の姿」では、我が国が抱える領土をめぐる問題について、その地理的背景を丁寧に解説することで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できるようにしました。	特に p.28-29
	● 第2編第1章「人々の生活と環境」では、様々な宗教を取り上げ、多様な文化への理解や敬意を深め、尊重する態度を養えるようにしました。	特に p.52-53
	● 第2編第2章「世界の諸地域」では、世界の各州の冒頭に「〇〇の国からこんにちは！」のコーナーを設け、25か国の言葉と国旗を取り上げることで、異文化への関心を高め、他国を尊重する態度を養えるようにしました。 →本書 p.10 参照	p.60、78、92、104、118、130
	● 地域に根ざした地場産業や伝統行事、歴史的な町並みなど、日本各地に継承されている伝統文化を多く取り上げ、自分の身近な地域にも目を向けることで、郷土を愛する心を身に付けられるようにしました。	p.227、229、251 など

検討の観点と内容の特色

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 地理』の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	● 本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。 ● 目次、索引、巻末資料などを除いたページ数は272ページで、標準授業時数115単位時間のうち、5単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 ● 授業時数は、地理学習の導入に1単位時間、第1編1章に7単位時間、2章に6時間、第2編1章に11単位時間、2章に29単位時間、第3編1章に5単位時間、2章に12単位時間、3章に35単位時間、4章に5単位時間を配当し、また、それぞれに単元の導入の活動とまとめの活動の時間を充当しており、適切な配当といえます。 →本書 p.35「単元構成と配当授業時数」参照	全体
	適正な内容・分量	● 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ● ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き2ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所でも読み方を確認する必要がないようにしました。	全体

観点別特色一覧

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 地理』の特色	該当箇所
教育基本法・学習指導要領への対応	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	●見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧に分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。→本書 p.6-7 参照	p.112-113 など
		●本文中の難しい用語を解説する「もっと解説」を本文ページの随所に配置し、単元のまとめには用語の確認をする「ワードチェック」を設け、確実な理解を促すようにしました。また、QR コンテンツでは、社会科で学習する重要用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。	p.95、107 など
		●写真・雨温図・統計地図・グラフといった資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法などの地理学習の基礎的な技能を系統的に習得する「スキル・アップ」とともに、身に付けた技能を活用するコーナーを設け、確実に定着できるようにしました。	p.34、50、53、168、279 など
	「地理的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	●巻頭に「地理を学ぶ5つのミカタ」を設けて地理学習に重要な視点の例を丁寧に示したほか、単元の冒頭に「地理のミカタ」を設け、全編を通して「地理的な見方・考え方」を意識して学習できるようにしました。	p.6
		●1単位時間の学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、着実に思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。	p.10-11 など
		●各章の終結部には「ベン図」「ウェビング」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。→本書 p.16-17 参照	p.33、127、267 など
	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解する。	●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。→本書 p.23 参照	p.30、35 など
		●世界の諸地域学習の導入では、共通する6つの視点で州を概観するコーナー「世界の窓」を、日本の諸地域学習の導入では「〇〇の視点で見てみよう」をそれぞれ設け、「地理的な見方・考え方」を働かせながら、地域的特色を概観し、探究的に地誌学習に取り組めるよう工夫しました。	p.61、79、93、105、119、131、187、199 など
	我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。	●世界や日本の諸地域学習の各州や各地方の導入に、現地に暮らす中学生が生活の様子や地域の特徴などを紹介するコラム「聞かせて!中学生」を設け、地域による違いや生活の工夫などに関心を高め、異文化理解や国土理解を深めるようにしました。→本書 p.8、10 参照	p.60、78、92、104、184、196、208、220 など
		●我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状やその地理的背景について本文やコラムで扱い、我が国の領域について正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。	p.26-29
公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	●我が国がかかえる領土をめぐる問題の現状やその地理的背景について本文やコラムで扱い、我が国の領域について正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。	p.26-29	
	●「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の生き生きとした姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにし、生徒の動労観を養えるようにしました。	p.99、189、217、227、241、251、263 p.269-279	
構成・配列	教材の配列は学習しやすいか。	●「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れを捉えやすくしました。→本書 p.6-7 参照	(第3編第2章の例) 導入部：p.156-157 →展開部：p.158-179 →終結部：p.180-181
		●基礎的・基本的な地理的技能的確実な習得を図る「スキル・アップ」は、生徒の発達段階をふまえて系統的に配置し、技能を段階的に高められるようにしました。→本書 p.23 参照	p.15、17、18、19、20、25、32、34、37、53、56、57、145、146、148、149 など
	導入やまとめ、問題提起の教材、学習の整理のための配慮は十分か。	●①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入(の活動)」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、「探究課題」をスムーズに解決するためのふり返りのコーナーである「探究のステップ」を設けました。	(第2編第1章の例) ①導入の活動：p.34-35 →②問いの追究：p.36-53 →③まとめの活動：p.54-55
		●調査単元以外では、単元の学習の最後に「確かめよう」を設け、地図などを使って学習内容を整理することで、基礎・基本の定着を図れるようにしました。→本書 p.14 参照	p.54、74、88、100、114、126、138、180、194、206、218、230、242、254、266
	写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めているか。	●各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるようにしました。	p.12-13 など多数
		●本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。	全体
	小学校や高等学校との接続・系統性があるか。	●学習効果を高めるイラストなどを豊富に掲載し、生徒が興味・関心を持って学習を進められるようにしました。	全体
		●各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QR コンテンツでは既習事項をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすい動画を用意し、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。	p.8 など
	他分野との関連に配慮しているか。	●「スキル・アップ」でGIS(地理情報システム)を取り上げ、高等学校の必修科目「地理総合」につながる学習ができるようにしました。	p.154
		●3年間の社会科学習を貫く5つのテーマ(「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」)について、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付すことで、多面的・多角的な学習ができます。→本書 p.24-25 参照	p.58-59 など
他教科との関連に配慮しているか。	●国語、書写、数学など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、教科を横断した学習の確認ができます。→本書 p.25 参照	p.25、153、162、164、165 など	

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 地理』の特色	該当箇所
構成・配列	学習効果を高めるQRコンテンツが用意されているか。	●導入→展開→まとめという単元の学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。→本書 p.18-19 参照	全体
		●導入のページでは、小学校の学習をふり返るクリップなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。	p.35、62、156、184 など
		●展開のページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまづきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、二次元コードを学習課題の隣に置きました。	p.37、45、46、227 など
		●まとめのページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容を確認するクイズなどを用意しました。	p.33、54、126-127、266-267 ページなど
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標(SDGs)	●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。	巻頭3-p.1、58-59、141、142-143 など
		●持続可能な社会の形成について、第2編2章『SDGsから「地球的課題」を考えよう』、第3編4章「持続可能な地域の在り方」などで取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。	p.58-59、75、89、101、142-143、269-279 など
	環境・エネルギー	●世界の様々な環境問題や、再生可能エネルギーも含めた発電方法の特徴と課題を取り上げた「もっと知りたい!」と「未来にアクセス」を設け、地球的課題である環境問題や日本が抱えるエネルギー問題への意識を高め、課題への理解を促すようにしました。	p.65、70-71、84-85、125、172-173、182 など
		●世界の様々な宗教や文化を取り上げています。ムスリムの暮らしを丁寧に取り上げた「もっと知りたい!」では、イスラームの地域による多様性などにも触れることで、偏見に陥ることなく宗教への理解を深めるとともに、人権や国際平和への意識を高められるようにしました。	p.52-53、77、137 など
	人権・平和	●多国籍の人々が暮らす町の取り組みを取り上げた「未来にアクセス」を設け、多文化共生に向けた視点を身に付け、将来の共生社会を考える意識を高められるようにしました。	p.243
		●地域的特色を背景とした各地の伝統産業や伝統文化、歴史的町並みなどを本文やコラム「もっと知りたい!」などで豊富に取り上げ、それらが形成された歴史的背景や現代の生活に対応した革新の努力にも触れることで、国土や郷土への理解や愛情を深められるようにしました。	p.216-217、219、229、250-251 など
	防災・安全	●日本で見られる地震や火山、気象による様々な自然災害を地理的要因とともに取り上げ、開発と自然環境との関係を考察しながら災害に向き合えるようにしました。また、高等学校「地理総合」での防災の学習に円滑に接続できるようにしました。	p.164-169、185、188-189 など
		●情報通信技術(ICT)の進展による社会の変化や課題解決の取り組みの事例を本文や「未来にアクセス」などで取り上げ、地球的課題の解決や地理的な制約の克服に最先端の情報・技術が活用されていることへの理解を深められるようにしました。	p.71、73、111、177、204-205 など
	先生がたの働き方改革への貢献	●1見開きあたり1単位時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。	全体
		●単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせるとともに、配当時間を設け、単元構想が立てやすくなるようにしました。	p.8-9、20-21、32-33、34-35 など
●紙面上で、活動場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例を分かりやすく提示しました。→本書 p.22 参照		p.14、43、73、84 など	
インクルーシブ教育を目指して	●特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。	全体	
	●資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。		
令和の日本型学校教育の推進	●教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。	全体	
	●色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。		
表記・表現	●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。	全体	
	●別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更(リフロー表示)、本文の読み上げ(機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもたちの学習を支えます。→本書 p.26-27 参照		
製本・印刷	●紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせて学習を調整することができます。	全体	
	●学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上の二次元コードをクリックするだけの操作で、簡単にQRコンテンツにアクセスすることができます。		
用紙・紙質	●視覚的効果が高い幅広の判型(AB判)を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。	全体	
	●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。		
印刷・造本	●強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。	全体	
	●様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。		
用紙・紙質	●用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。	全体	

現代的な諸課題と教材の対照表

1 人権・平和：基本的人権や国際平和、共生社会にかかわる教材

編 章	ページ	項目	編 章	ページ	項目
2	1	p.53 ハラルの認証を受けた納豆		p.81	町を歩くムスリムの女性（デンマーク）
		p.67 分断が続く朝鮮半島	2	2	p.89 運転士になるための訓練を受けるシリアからの難民（ドイツ）
2	2	p.71 NPO が運営する女子のための学校（インド）		p.99	奇跡とよばれたルワンダの成長
		p.77 ムスリムの暮らしを知ろう	3	3	p.243 外国人との共生を目指して（群馬県大泉町）

2 伝統・文化：我が国や他国の伝統・文化、国土や歴史への理解にかかわる教材

編 章	ページ	項目	編 章	ページ	項目
1	2	p.22 長久保赤水による地図		p.219	歴史的な町並みをつくる？（三重県伊勢市おはらい町）
		p.26 工事前と工事後の沖ノ島		p.227	合掌造りの家を守る（岐阜県白川村）
2	2	p.27 変化し続ける国土面積（西之島）		p.247	なまはげの準備をする外国人留学生（秋田市）
		p.28-29 北方領土・竹島と尖閣諸島	3	3	p.248-249 伝統行事と生活・文化
2	2	p.129 海の向こうで活躍する日系人（南アメリカ州）		p.249	斜面で栽培される温海かぶの火入れ（山形県鶴岡市）
		p.137 アボリジニの絵がえがかれた航空機（オーストラリア）		p.251	漆器技術後継者訓練校における指導の様子（福島県会津若松市）
3	2	p.179 日本全国で食べられているお雑煮から地域区分した例		p.258	アイヌの伝統的な祭り
3	3	p.189 伝統的な家屋が残る町並み（沖縄県竹富町）		p.267	今に受け継がれるアイヌの文化
		p.217 海沿いに立ち並ぶ舟屋（京都府伊根町）			

3 環境・エネルギー：地球環境問題や資源エネルギー問題など、持続可能な社会にかかわる教材

編 章	ページ	項目	編 章	ページ	項目
2	1	p.50 屋根に草が生えている理由		p.171	日本の将来人口で人口ピラミッドを作ろう
		p.69 海岸近くの森林を切り開いて造られたえびの養殖場（インドネシア）	3	2	p.182 日本の発電所を見てみよう
2	2	p.85 自転車専用道路を走る人々（イギリス）		p.190	太陽光発電のパネルが設置された市役所の庁舎（佐賀県小城市）
		p.85 環境に優しい都市交通とパークアンドライド	3	3	p.193 廃棄された家電から取り出した金（福岡県北九州市）
		p.96 フェアトレードラベルの付いた商品		p.207	ごみを出さない地域づくり（徳島県上勝町）
		p.123 観光と環境保全の両立を目指す島（ガラパゴス諸島）		p.231	富士山の山頂に設置されたパイオトイレ
		p.125 パイオエタノールは夢の燃料？（南アメリカ州）		p.255	資源を生む町への再生（秋田県小坂町）
		p.141 水没から国土を救え（ツバル）			

4 防災・安全：自然災害や復旧・復興などの防災・安全にかかわる教材

編 章	ページ	項目	編 章	ページ	項目
2	2	p.117 巨大ハリケーンを予測せよ（北アメリカ州）	3	2	p.169 鉄道が支える地域の復興
3	1	p.152 自然災害伝承碑を調べる様子		p.189	鹿児島市内にあるシェルター
		p.164-165 日本で見られるさまざまな自然災害	3	3	p.189 土砂の流出を防ぐ砂防ダム（大分県日田市）
		p.166-167 防災・減災に向けた取り組みと課題		p.195	雨が多いのに足りない？沖縄の水事情
3	2	p.166 災害派遣された自衛隊		p.215	阪神・淡路大震災の教訓
		p.166 津波から避難するための施設（津波避難タワー）		p.222	流雪溝（新潟県十日町市）
		p.167 浸水した住宅の片付けを手伝うボランティア		p.252	1933年の地震の後に建てられた石碑（岩手県宮古市）
		p.168 さまざまなハザードマップを読み取る			

5 情報・技術：情報化や技術の進歩が人間社会に与える影響にかかわる教材

編 章	ページ	項目	編 章	ページ	項目
		p.67 ロボットが導入されたオフィス（韓国）		p.205	プログラミングで地域おこし（島根県松江市）
2	2	p.103 情報化で変わるアフリカの暮らしと社会	3	3	p.224 ファインセラミックスが使われた製品
		p.117 巨大ハリケーンを予測せよ（北アメリカ州）		p.240	インターネットで商品を販売する会社の発送センター
3	3	p.199 離島と本土をつないだ遠隔授業（島根県海士町）			

6 社会参画にかかわる教材

編 章	ページ	項目	編 章	ページ	項目
		p.219 みんなでチャレンジ（4）（近畿地方）		p.271	SDGsをふり返ろう
3	3	p.243 みんなでチャレンジ（4）（関東地方）	3	4	p.279 動画を使った発信の仕方
		p.255 みんなでチャレンジ（4）（東北地方）		p.269-279	持続可能な地域の在り方

単元構成と配当授業時数

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	教科書ページ	配当時数
巻頭	世界の食事を見てみよう！		巻頭1-巻頭2	
	持続可能な社会の実現に向けて		巻頭3-1	1
	もくじ		2-3	
	この教科書の使い方と学び方		4-5	
	地理を学ぶ5つのミカタ		6	
	地理の学習をはじめよう		7	
第1編	世界と日本の地域構成	A-(1)	8-33	13
第1章	世界の姿	A-(1)①	8-21	7 ○
第2章	日本の姿	A-(1)②	22-33	6 ○
第2編	世界のさまざまな地域	B-(1)(2)	34-143	40
第1章	人々の生活と環境	B-(1)	34-57	11 ○
第2章	世界の諸地域	B-(2)	58-143	29
1節	アジア州	B-(2)①	60-77	(7) ○
2節	ヨーロッパ州	B-(2)②	78-91	(5) ○
3節	アフリカ州	B-(2)③	92-103	(4) ○
4節	北アメリカ州	B-(2)④	104-117	(5) ○
5節	南アメリカ州	B-(2)⑤	118-129	(4) ○
6節	オセアニア州	B-(2)⑥	130-141	(4) ○
第3編	日本のさまざまな地域	C-(1)(2)(3)(4)	144-279	57
第1章	地域調査の手法	C-(1)	144-155	5
第2章	日本の地域的特色	C-(2)	156-182	12 ○
第3章	日本の諸地域	C-(3)	183-268	35
1節	九州地方	C-(3)①	184-195	(5) ○
2節	中国・四国地方	C-(3)②	196-207	(5) ○
3節	近畿地方	C-(3)③	208-219	(5) ○
4節	中部地方	C-(3)④	220-231	(5) ○
5節	関東地方	C-(3)⑤	232-243	(5) ○
6節	東北地方	C-(3)⑥	244-255	(5) ○
7節	北海道地方	C-(3)⑦	256-268	(5) ○
第4章	持続可能な地域の在り方	C-(4)	269-279	5
			予備時間	5
			合計	115

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。

※配当時数に「○」がある単元の時数には、単元の「導入の活動」(1時間)や「まとめの活動」(1時間)も含まれます。

東京書籍「新編 新しい社会」の仲間たち

